



T.Miki

サマー2000シリーズ

## THE KOKURA KINEN

## 第61回 農林水産省賞典 小倉記念 (GIII)

	1着	2着	3着	4着	5着
本賞	43,000,000円	17,000,000円	11,000,000円	6,500,000円	4,300,000円
付加賞	602,000円	172,000円	86,000円		

レース映像は  
コチラでご覧  
いただけます。

3歳以上、2024.7.13以降2025.7.13まで1回以上出走馬、除外未出走馬および未勝利馬  
負担重量 ハンデキャップ

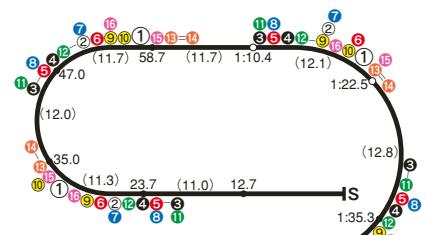
2025.7.20 小倉 晴・良 芝2000m (国際) 特指

順位	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム	コーナー	上り	馬体重	単勝	オッズ	調教師	レーティング
					(着差)	通過順位	(600m)	(増減)				
1	① イングラングアイズ	牝5	51	松若風馬	1:59.9	5-4-4-5	36.2	450(+2)	16.3(8)	安田翔伍(栗東)	100	
2	⑥ シエイクユアハート	牡5	55	古川吉洋	1% 8-8-5-4	36.4	444(-10)	6.1(3)	宮 徹(栗東)	104		
3	⑯ ディープモンスター	牡7	58	北村友一	1 6-6-7-7	36.3	470(+2)	5.8(2)	池江泰寿(栗東)	108		
4	⑧ ラスカンブレス	牡4	56	荻野 極	ハナ 13-13-13-13	35.4	490(±0)	12.1(6)	林 徹(美浦)	104		
5	⑦ オールセインツ	牡4	54	酒井 学	1 9-9-8-7	36.4	502(+4)	11.0(5)	友道康夫(栗東)			
6	⑫ ハビ	牡6	57	坂井瑠星	クビ 11-11-11-11	36.1	482(-4)	6.6(4)	大久保龍志(栗東)			
7	⑪ ダンディズム	駄9	56	高杉吏麿	% 15-15-15-15	35.6	468(±0)	90.0(8)	野中聟二(栗東)			
8	⑩ ナムラエイハブ	牡4	55	松山弘平	クビ 3-5-5-5	36.9	516(+8)	14.9(8)	長谷川浩大(栗東)			
9	④ メリオーレム	牡4	56	川田将雅	クビ 12-12-12-12	36.1	488(-6)	5.0(1)	友道康夫(栗東)			
10	⑯ ニホンビロギーフ	牡5	56	幸 英明	アタマ 3-3-2-2	37.3	476(-4)	21.3(1)	大橋勇樹(栗東)			
11	⑨ リカンカブル	駄6	58	田口大成	% 7-6-8-7	36.8	488(-10)	26.4(2)	田中克典(栗東)			
12	⑤ マイネルメモリー	牡5	56	田口貴太	アタマ 13-13-13-13	36.0	464(-2)	20.7(0)	宮 徹(栗東)			
13	② ショウナンアディブ	牡6	56	岩田康誠	% 9-9-8-7	36.9	512(-10)	14.2(7)	高野友和(栗東)			
14	③ カネフラ	牡5	54	永島まなみ	1% 15-15-15-16	36.0	452(±0)	43.4(3)	高橋康之(栗東)			
15	⑬ スズカダブル	牡5	54	吉村誠之助	クビ 2-2-2-1	37.9	500(-4)	43.8(4)	西村真幸(栗東)			
16	⑭ グラティアス	牡7	56	小沢大仁	大差 1-1-1-2	41.5	492(+2)	156.1(6)	安田翔伍(栗東)			

単勝①1,630円(9%) 複勝①440円(8%) ⑥220円(3%) ⑯220円(2%) 枝連①-③1,740円(10%)

馬連①-⑥4,740円(17%) ワイド①-⑥1,550円(16%) ①-⑯1,810円(24%) ⑥-⑯740円(2%)

馬単①-⑥10,850円(46%) 3連複①-⑥-⑯9,900円(23%) 3連單①-⑥-⑯74,990円(250%)



通過タイム : 600m 800m 1000m 上り : 800m 600m  
35.0 - 47.0 - 58.7 (11.0) 12.7 1:35.3 (12.4) 1:47.7 (12.2) 1:59.9 (11.3) 23.7 (11.0) 1:22.5 (12.8) 1:27.0 (12.0) 1:58.7 (11.7) 1:10.4 (12.1) 1:22.5 (12.1) 1:27.0 (12.0)

## アラカルト

- 松若風馬騎手はアズマシャトルで制した15年に続く小倉記念2勝目。JRA重賞はフェーニングロッテンで制した22年ラジオNICKKEI賞に続く通算12勝目
- 安田翔伍調教師は小倉記念初勝利。JRA重賞は本年2勝目、通算14勝目
- Kingman産駒はJRA重賞通算5勝目
- 5歳馬の勝利は20年アールスターに続く通算24回目
- 牝馬の勝利は22年マリアエレーナに続く通算16回目
- ハンデ51kgでの勝利は89年ダンツミラクル以来36年ぶり、通算5回目(別定戦だった95年~99年は除く)
- 出走取消馬 エピファニー(疾病[右後肢跛行]のため)

# 外 イングランドアイズGB England Eyes

牝 鹿毛 2020.4.1生  
イギリス Hara Reiko Racing Co.Ltd生産  
馬主・原禮子氏 栗東・安田翔伍厩舎  
馬名意味・イギリスの瞳

ファーガーズプロスペクトUSA系 F3-d		
Kingman 鹿毛 2011	Invincible Spirit 鹿毛 1997	Green Desert
		Rafha
	Zenda 鹿毛 1999	Zamindar
Nuovo Record 栗毛 2011		Hope
	Heart's Cry 鹿毛 2001	Sunday Silence
		Irish Dance
	Omega Spirit 鹿毛 2001	Spinning World
		Fager's Prospect

5代までのインブリード : Danzig S 4×M5 Northern Dancer S 5×M5  
Mr.Prospector S 5×M5 Llyphard S 5×M5

## INTERVIEW

上水司 場長(山元トレーニングセンター・育成)

### 待望の重賞勝ちで感激しています

原オーナーのご希望で英国に移動してキングマンを配合、誕生した産駒です。オーナーご自身も渡英するなど、その情熱と驚異的なフットワークの軽さにいつも驚かされます。当歳11月に社台ファームへ入場し、2歳9月にこちらへ移動して以降、ずっと調整させてもらっています。ラストの勝負根性は素晴らしいですね。母の産駒、待望の重賞勝ちで感激しています。

### 父キングマン Kingman

イギリス産 英、仏、愛8戦7勝(愛2000ギニーG1、セントジェームズパレスS・英G1、サセックスS・英G1、ジャックルマロワ賞・仏G1、グリーナムS・英G3、ソラリオS・英G3、英2000ギニーG12着)、全欧年度代表馬、全欧3歳牡馬チャンピオン、15年から英で供用

[代表産駒]パレスピア Palace Pier(セントジェームズパレスS・英G1、ジャックルマロワ賞・仏G1回、ロッキンジS・英G1、クイーンアンS・英G1)、ペルシアンキング Persian King(仏2000ギニーG1、イスパーン賞・仏G1、ムーランドロンシャン賞・仏G1)、フィールドオブゴールド Field Of Gold(愛2000ギニーG1、セントジェームズパレスS・英G1)、ドメティックスペンディング Domestic Spending(ターフクラシックS・米G1、マンハッタンS・米G1、ハリウッドダービー・米G1)、スパークリングプレンティ Sparkling Plenty(仮オーラスG1)、キンロス Kinross(フォレ賞・仏G1、英チャンピオンズブリントS G1)、フィードザフレイム Feed The Flame(パリ大賞・仏G1)、ゾーテルヌFR(ムーランドロンシャン賞・仏G1)、シュネルマイスターGER(NHKマイルC G1)、コミッショニングGB(フィリーズマイル・英G1)、他に重賞勝ち馬多数

### 母ヌーヴォレコルト

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央18戦5勝(オークスG1、中山記念GII、ローズS G1)、こうやまき賞、秋華賞G12着、エリザベス女王杯G12着2回、オールカマーG2着、チューリップ賞G2着、桜花賞G13着)、北米、香5戦1勝(レッドカーベットH・米G3、香港C G12着)、17年輸出(英)、21年帰国

ドンナセレーノGB(18 牝父ロードカナロア)中央17戦3勝(石狩特別)

キュルキュマGB(19 牝父Frankel)中央2戦0勝

イングランドアイズGB 本馬(20 牝父Kingman)中央16戦4勝(小倉記念GIII、

千里山特別、若戸大橋特別)獲得総賞金105,698,000円

オメガインペリアルGB(21 牝父Kingman)中央11戦2勝(⑨)

セナスタイル(22 牝父Sottsass)持込 中央1戦1勝(⑨)

(23 牝父サートゥルナーリア)

(24 牝父ブリックスアンドモルタルUSA)

(25 牝父ナダルUSA)

### 祖母オメガスピット

北海道新潟町 森永正志氏生産 中央3勝(有田特別、医王寺特別)、23年用途変更

オメガユニコーン(10 髯父ネオユニヴァース)中央2勝(檜原湖特別)、地方0勝

ヌーヴォレコルト(11 前出)

オーケストラ(15 髯父ハーツクライ)中央3勝(横手特別)、地方1勝



1965年にハンデ戦として創設された小倉記念G3、99年は別走の最軽量ハンデ優勝記録は51kgで、初代のウイナー・ヒロタカクマから89年のダンツミラクルまで、4頭が勝利を飾っている。4週間の日程で行われた夏開催の最終週に組まれた今年のレースで、5頭目に加わったのが9番人気の伏兵イングランドアイズ。3勝クラスから格上挑戦してきた良血牝馬が実績上位の面々を一蹴し、初の勲章を手にした。

先手を奪つたグラティアスが1コーナーから後続を離して逃げ、レースは速い流れ、縦長の隊列で進行。イングランドアイズの松若風馬騎手は4番手

逃げたグラティアスは4コーナーで急激に失速。3コーナーから進出にかかり、いち早く前に迫つたシェイクユアハートが直線半ばで先頭に躍り出る。アハートが直線半ばで先頭に躍り出る。シェイクユアハートを一気にかわしてゴールに飛び込んだ。

オークスをはじめ、日本で重賞4勝を挙げた名牝ヌーヴォレコルトを欧洲で繁殖入りさせ、キングマンと配合して誕生した本馬は、3歳時にはクイーンC、フローラSで4着に好走、オーケスにも駒を進めた16着経歴を持つ。今年3月に2勝クラスを卒業した後は、昇級初戦のシドニートロフィー5着続く垂水Sも7着に敗れたが、ハンデ差も見据えて格上挑戦を決めた陣営の選択がズバリと的中。両親から受け継いだ良血が花開き、5歳の夏に嬉しい

のインに腰を落ちさせる。重賞で上位入着を重ねてきたティープモンスターは中団につけ、3勝クラスを勝ち上がったばかりながら、安定感抜群の戦歴を誇るシェイクユアハートがその後を追走。そんな2、3番人気の両馬に対し、好時計で差し切つたむらさき賞を勝ちっぴりを評価され、1番人気のメリオーレムは促し気味の手応えで後方を進んだ。

逃げたグラティアスは4コーナーで急激に失速。3コーナーから進出にかかり、いち早く前に迫つたシェイクユアハートが直線半ばで先頭に躍り出る。シェイクユアハートを一気にかわしてゴールに飛び込んだ。

オーケスをはじめ、日本で重賞4勝を挙げた名牝ヌーヴォレコルトを欧洲で繁殖入りさせ、キングマンと配合して誕生した本馬は、3歳時にはクイーンC、フローラSで4着に好走、オーケスにも駒を進めた16着経歴を持つ。今年3月に2勝クラスを卒業した後は、昇級初戦のシドニートロフィー5着続く垂水Sも7着に敗れたが、ハンデ